

(様式第6号 別紙)

## 長崎県福祉サービス第三者評価結果報告

### ① 第三者評価機関名

特定非営利活動法人 ローカルネット日本評価機構
-------------------------

### ② 事業者情報

名称: ふれり恵光保育園	種別: 保育所
代表者氏名: 理事長 遠山光宜	定員(利用人数): 40名
所在地: 長崎県大村市東大村2丁目1614-42      Tel 0957-20-7100	

\*施設・事業所情報は、事業所プロフィール参照

### ③ 施設・事業所の特徴的な取組

大村市が一望できる小高い丘の上にふれり恵光保育園は位置している。「ふれり」はフランス語で「草原」を意味し、自然の中でのびのび成長する子どもの姿が表現されている。園は市の中心部から少し離れた小高い丘に平成28年4月に開設。自然に囲まれた静かで落ち着いた環境は、子どもたちを心豊かにたくましく成長させ、穏やかな育ちを実現させるねらいがある。

保育で大切にしていることは、①人間関係をつくる基本となる「あいさつ」②社会的習慣を身につける「しつけ」③掛ける言葉によって人格が形成される「ことば」④五感を刺激し、感性を豊かにする「外遊び」⑤質の高い教育「集中力・記憶力を高めるCAT教室」の5つの基本方針による保育である。少人数保育の特性を生かしながら、きめ細やかな質の高い保育サービスを提供している。

### ④ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年6月23日(契約日) ~ 令和5年3月31日(評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	初回

## ⑤総評

◇特に評価の高い点

### ①総合的な人事管理

期待する職員像を明確に掲げ、コンサルタント(労務管理士)の介入により、就業規則の周知徹底と職員面談を実施している。自己評価及び分析を行い、園の課題を改善している。法人本部から採用決定の場合、就職祝い金 20 万円を 4 回に分けて 4 年間支給している。

### ②子どもが主体的に活動できる環境

近年、注意力が散漫な子どもが増えてきており、環境面の配慮や工夫が必要になってきている。保育室は子どもの気が散りにくいすっきりとした落ち着きが促される環境を意図的に整備し、おもちゃなどはいつでも取り出せる場所を確保している。外遊びができる園庭は広く、友だちと積極的に関わりながら友だち同士が協力し合って何かを成し遂げたり、子どもが主体的に関わりたくなるような環境を整えている。

◇改善を求められる点

### ①計画的な改善策の実施

職員は自己評価を行い、レーダーチャートを用いて園の全体評価・分析を行っているが、取り組むべき課題を明確にし、中・長期計画、単年度計画に反映していない。課題解決は個々の努力も必要だが、職員全員が参画した中で解決していくような体制作りへの取り組みが望まれる。

### ②就学を見通した小学校との連携

近隣の小学校長の意向もあり、小学校の担任との連携が取りにくいという現状の課題がある。小学校との連携は就学までの見通しを持った計画を立てるために必要不可欠な要素であることを再考し、小学校と連携ができる方法を模索し、関係を構築できるような今後の取組みに期待する。

## ⑥第三者評価結果に対する事業者のコメント(事業所記入欄)

今回、初めて第三者評価を受けるにあたりまして、全職員での調査項目の自己評価及び提出資料のチェックを行う中で、日常の業務に対して再確認、見直しが出来たことは有意義なことでした。又、評価調査員の方々との面談の中で調査項目ごとに良い点、改善する点など私たちの気付かない違った目線で、懇切丁寧にアドバイス等を頂き有難うございました。今後、改善する点など具体的な対策を講じ、更に質の高い保育サービスの提供を目指して参りたいと思います。

## ⑦第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

## ⑧利用者調査及び書面調査の概要

(別紙)

# 第三者評価結果（共通）

\*すべての評価細目（46項目）について、判断基準（a・b・cの段階）に基づいた評価結果を表示する。

\*評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する

## 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

### I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b
<p>&lt;コメント&gt;            理念は家族からも見えるように、玄関近くの廊下に掲示している。また、保育の全体計画にも理念、保育理念を掲載している。さらに、園の基本方針はホームページにわかり易く掲載している。保護者へは入園時に重要事項説明書を基に説明している。職員への周知は職員会議と園長交代の際に行っている。重要事項説明書には、目的、運営方針を掲載しており、理念も掲載し周知することを期待したい。</p>		

### I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b
<p>&lt;コメント&gt;            おおむら子ども・子育て支援プラン（令和2年度～令和6年度の5年間の計画）を参考にしている。校区での在宅保育は120名～130名であり、大村市は待機児童0と推定される。今後、入園者は減少し児童数減となり、園独自の環境も含め一人ひとりの保育を充実させていく考えを持っている。また、利用定数を40名から30名に減らす要望を市へ申し出ており、意図的に利用定数平均30名を目標にしていたが、令和3年度の平均利用数は23名と低い状況であった。</p>		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b
<p>&lt;コメント&gt;            職員育成のための面談を年3回～4回実施している。職員の個人目標の達成状況の確認とアドバイスや意向・意見の確認と改善を要すること等を職員会議等で意見を集約し、課題分析や事業計画、決算報告に反映させている。事業計画・決算報告を理事会に提出する前に職員へ説明し周知を図っている。必要に応じて経営分析にもコンサルタント等を活用するなど、主観的な経験や勘に頼らず、データで根拠を明確にして課題を明確にし取り組むことを期待したい。</p>		

～

### I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
<p>&lt;コメント&gt;            利用者定数40名から30名への変更、保育の質の向上、保育士等の人間性や資質、専門性、協働性をより高める、施設環境の整備等を挙げている。保護者へのアンケート調査と職員個々の自己評価を基に評価・分析し改善へと繋げている。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
<p>&lt;コメント&gt;            中・長期計画の各項目に関する単年度の計画を策定している。利用者定数40名から30名へ変更する要望を市へ提出している。新規職員3名の採用が決定しているが、更に3名の追加採用を予定しており、研修の充実を幅広く行う予定である。また、園長は特別保育の実施を考えている。虐待防止マニュアルを作成し職員に周知している。施設環境の整備として遊具を購入している。保育士の目指す職員像を作成しており、職員への周知と自己評価は勿論のこと保護者からの意見や評価を取り入れながら計画策定を期待したい。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
<p>&lt;コメント&gt;            事業計画策定に当たっては、職員会議で職員の意見を集約し計画に反映させている。状況に応じて事業計画の見直しを行っている。各月の収支状況を職員へ説明し、事業計画への理解を深め、経営に参画する意識の啓発が必要であると園長は考えており、今後の取り組みに期待したい。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b
<p>&lt;コメント&gt;            新年度園児の入園児に、重要事項説明書を保護者へ説明する際、行事計画と運営の説明も行っている。保護者との面談を2回実施しており、その際に運営の説明を行っている。今後、保護者会等での説明と園のホームページへの事業計画の掲載を期待したい。</p>		

## I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
<p>&lt;コメント&gt;                      PDCAサイクルを活用して保育を行っている。年4回実施している能力開発カードにより全職員がチェックを行い、目標達成に向けて実践している。月指導計画、週案は、職員会議で分析・見直しを行っている。各種行事を実施した後は反省会を行い、翌年に活かしている。職員は、保育の基本理念と実践に係る観点、家庭及び地域社会との連携や子育て支援に係る観点、保育の実施・運営体制全般に係る観点を計82項目の自己評価を行い、園としてレーダーチャートを用いて分析・評価している。今後保護者からの意見や評価を汲み取り保育の質の向上に活かすことを期待したい。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	c
<p>&lt;コメント&gt;                      職員個々の自己評価結果を、園としてレーダーチャートを用いて評価・分析している。今後、取り組むべき課題を明確にして、中・長期計画、単年度計画に反映させ、課題解決へ向けて職員と共に取り組むことを期待したい。</p>		

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

### Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;                      令和4年9月に園長交代があった。職員会議の中で、園の経営方針や園長の考え等を職員へ説明し、周知を図っている。また、職務分担表に園長の職務内容を明記している。園長不在時は、主任保育士、副主任保育士が職務を代行している。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;                      毎月の職員会議の中で、遵守すべき関係法令等の周知・徹底を図っている。ハラスメント対策に関する研修会に施設長が参加し、受講後は職員会議で伝達講習を行い、職員へ周知と理解を図っている。高額な物品等の購入は法人本部に委ねており、園長は取引業者と直接対応はしていない。</p>		

		第三者評価結果
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	II-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	b
<p>&lt;コメント&gt;            保育の質の向上の取組みの一環として行っている能力開発カード（自己評価）により、各職員の評価・目標を把握し、園長が日頃より職員との対話に心がけながらアドバイスや研修を行っている。また、保育士のキャリアアップ研修を計画的に実施している。園長との面談は3ヵ月毎に実施しており、職員会議で全体討議を行い、職員の意見を反映させると共に、園としてレーダーチャートを用いて分析・評価し、保育の質の向上に取り組んでいる。今後は保護者の参画を期待したい。</p>		
13	II-2-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	b
<p>&lt;コメント&gt;            子どもたち一人ひとりに寄り添った保育の実現に向け、利用定員数40名から30名への変更を市に要望しており、令和5年度からは30名の予定である。保育士の辞職に伴い、令和5年度は6名の採用を予定しており増員となる。心を育てることを目的としたCAT教室で、右脳を幼児期に鍛えることで、人の痛みがわかる、優しく豊かな心を育てると同時に、イメージする力や学習の基礎となる記憶力を育てる取組みを行っている。今後、ICTを活用しながら業務の実効性をより高める取組みを期待したい。</p>		

## II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
<p>&lt;コメント&gt;            次年度へ向け入園児童数を予測し、法人本部と協議の上、保育士の採用を行い増員した。臨床心理士の採用を考えたが、今回は採用に至らなかった。子育て支援員として無資格者を採用した場合は、園が資格取得に係る全ての費用の支援を行っており、保育士や調理師の資格取得と定着に繋げている。</p>		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a
<p>&lt;コメント&gt;            期待する職員像を明確にしており、職員会議や入職時に説明し周知を図っている。4月にはコンサルタント（労務管理士）より全職員に、就業規則に基づき労務の説明と人事管理の説明を行っている。園長は年3回～4回、職員面談を実施し、職員の意向・意見を聴き、評価・分析して改善に繋げている。法人本部からは就職祝い金20万円を、4回に分けて4年間支給している。</p>		

		第三者評価結果
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	C
<p>&lt;コメント&gt;            子育て中の職員や家族の都合に配慮した勤務体系にし、残業が生じないよう業務配分を行っている。少人数保育の実現を目標とする職員が多いため、その意向に反しない方針で定着を図っている。担任、副担任手当を支給し、職員の子どもが入园した場合は、保育料の補助を行っている。但し、現状では職員の離職率が高い。定着を妨げている原因分析を踏まえ、職員同士の安定した人間関係の醸成と連帯感を醸成するよう今後の取り組みを期待したい。</p>		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;            期待する職員像を明確にしておき、職員に周知している。能力開発カード（職員一人ひとりの目標設定シート）により各職員が目標を設定し自己評価を行い、同時に園長と職員との面談を年3回～4回実施し、職員の意向・意見を把握し改善策を検討している。</p>		
18	II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
<p>&lt;コメント&gt;            外部講師/DVDによる園内研修を年5回、保育士の自主研修を年14回、大村市教育・保育力向上研修会を年6回、長崎県立こども医療福祉センター研修集団療育コース6月～2月を計9回、その他キャリアアップ研修等に職員が参加している。無資格の職員には資格取得を目指した教育・研修と取得に係る経費等のバックアップを行っている。</p>		
19	II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b
<p>&lt;コメント&gt;            職員に対し内部、外部の研修の機会を確保している。CAT（チャイルドアビリティトレーニング）について、保育士の学習と理解が深められるよう個別に時間を設けている。子どもへの右脳トレーニングに際し、主任保育士が主体となり他の保育士へ直接指導している。園長は職員の知識、技術、専門資格の取得情報を把握しており、個々に応じた研修への参加を促している。新人職員の個別的なOJTに関しては現在人員不足があり、保護者への伝達等を含め4月～6月に行っている。今後、理念や基本方針達成のために職員教育の到達度を明確にして、職種別、経験や習熟度別の教育計画を立案し、実施することを期待したい。</p>		

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	C
<p>&lt;コメント&gt; 園は平成28年4月1日小規模保育園認可、定員19名で開設した。平成31年4月1日に保育園認可、定員40名で、保育園として4年目である。園は実習生を受け入れる方針であり、関係機関へ実習生受け入れの働きかけを行っている。大学は実習先を固定しており、実習生は来ていない。コロナ禍により職場体験の受け入れは自粛している状況である。今後、実習生の受け入れ体制の整備と園のホームページ等を活用しアピールしていくことを期待したい。</p>		

### Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
<p>&lt;コメント&gt; ホームページで情報発信している。但し、財務諸表等の公開情報は法人本部のホームページで法人全体分を公開しているが、施設毎の公開はしていない。苦情への対応は、苦情解決実施要綱に則り対応している。苦情内容と結果は、個人情報に関するものを除き、苦情解決報告書を掲示板等に掲示し公表しているがホームページには掲載していない。ホームページにおいても、実施要領の手順に沿った苦情内容等の検証・検討を掲載することが望まれる。</p>		
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b
<p>&lt;コメント&gt; 社会福祉法人経理規定に則り運営している。法人本部が契約している公認会計士とコンサルタント（労務管理士）から必要に応じた助言・指導を受けている。小口現金管理は園長が行っているが、高額な物等は法人本部が対応している。</p>		



## Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;            以前は近隣の特別養護老人ホームで行うお茶摘みや餅つきに参加したり、デイサービス事業所でお遊戯の披露のほか、敬老会に訪問する等交流を行っていたが、コロナ禍により現在は交流できていない。ハロウィンイベント時には高齢者施設と小学校への訪問は継続して行っている。活用できる社会資源や地域の情報を収集し、保護者へ提供している。園に地域の行事や活動に参加できる人数が少ないことは課題と言える。</p>		
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
<p>&lt;コメント&gt;            園はボランティアを受け入れる方針であり、ボランティア受け入れマニュアルを作成し、園の基本姿勢を明記している。尚、ボランティアへの応募がない状況である。ハロウィンイベントを通じて子どもが小学校を訪問したり、小学校から園にヤギを見に来て、ヤギの絵を描いて持って来るなど交流を行っている。小学校の授業風景や運動会の練習状況を子どもが見学できるよう小学校に働きかけているが実現できていない。ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援について、マニュアルへの明記と、ボランティアや職場体験の受け入れ等について学校関係への働きかけやホームページ等を活用して情報発信するなど今後の取り組みに期待したい。</p>		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b
<p>&lt;コメント&gt;            玄関に相談窓口を掲示している。保護者から相談を受けた場合は、必要な社会資源の情報を提供し支援に繋げている。発語が困難な子ども等、子育てに関する各種の相談や必要な情報を提供し、市の子育て相談窓口とも連携している。就学前の子どもの生活環境が著しく変化している状況に対し、保護者との面談及び県央児童家庭支援センターへの相談を行った。その後、他市へ転出となり、転出先の市へ子ども及び家庭の見守り等の引継ぎを行っている。卒園する子どもについては、入学校へ引継ぎを行っている。</p>		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	c
<p>&lt;コメント&gt;            現在、未満児が多く、またコロナ禍でもあり、これまでは地域との連携が希薄であった。園長は地域の具体的な福祉ニーズや生活課題等の把握、地域住民の多様な相談に応じるために地域との連携強化に取り組む考えを持っており、今後の具体的な取り組みに期待したい。</p>		

		第三者評価結果
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	C
<p>&lt;コメント&gt; 市のおむら子ども子育てプランにより大まかな保育ニーズの把握はできているが、詳細は市担当課へ問い合わせをしながら、求められるニーズに対応できるよう計画を立て実施していく方針である。また、子育て支援事業も今後実施していく方針である。民生委員とコンタクトをとり、園にある資源を活用できるよう提案していくことを考えている。更に地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援への取り組みを行うことを期待したい。</p>		

## 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt; 理念や基本方針、倫理綱領を職員に周知させている。めざす園児像は、元気でたくましく、明るくのびのびとし、他人の痛みがわかる子どもとしている。めざす職員像は、豊かな人間性と公平で暖かい愛情を持ち、子どもの人権を大切にすると明記している。自己評価を行う中で「人権擁護のためのセルフチェックリスト」を用いて確認し、職員の人権への意識を高めている。園の自己評価の内容をホームページに公開し、保護者へ園の方針等の理解を図っている。子どもの尊重や基本的人権への配慮に関する職員研修を定期的に実施している。園庭での遊びの中で、子ども達が自発的に助け合っている姿を確認できた。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	b
<p>&lt;コメント&gt; 入園の契約時に保護者へ運営規定の説明を行っている。自己評価を通じて子どものプライバシー配慮に関し、職員へ意識づけを図っている。気になる子どもが落ち着きを失っている場合は、保育士が付き添い、個室で落ち着くまで見守っている。個室が空いていない場合は、テントを使用するなど工夫している。尚、トイレやトイレ内の手洗い場、子どもの着替えの場面など、子どもの自尊心とプライバシー保護の観点から外部から見えないよう工夫すると共に死角になる場所にも留意しながら検討することを期待したい。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	b
<p>&lt;コメント&gt; 大村市が作成している「大村市教育・保育施設ガイドブック」（大村市ホームページで閲覧可能）に当園の保育の内容や特性等が紹介されており、こどもセンターにも設置している。掲載している情報提供内容は適宜見直しを行っている。大村市の保育コンシェルジュが来園し、園の情報提供を行い、円滑な入園に繋がるよう、園長または主任保育士が対応している。</p>		

		第三者評価結果
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	b
<p>&lt;コメント&gt;            保育の開始時は保護者へ重要事項説明書に基づき説明し、同意書を得ている。保育の変更と開始に当たっては、事前にお便りと園外掲示板で知らせ同意を得ている。配慮が必要な保護者に関しては、声掛けし、お便りを読まれているか、同意しているか等をさり気なく確認している。保育の変更と開始については、事前に説明し、同意を得て決定した旨を記録に残すことを期待したい。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;            転園に際しては、担任から転園先に保育の継続性に配慮した内容の引き継ぎ書を作成している。園児や保護者の状況によっては、保護者の同意を得て、市や関係機関等へ情報提供している。相談事や困ったこと等ある場合は、卒園後も当園に相談できること、相談窓口や担当者は従来通りであることを説明している。今後、説明内容を文書にして保護者へ渡すことを期待したい。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;            毎月職員会議の中で、前月の各クラスの保育内容について報告を行い、改善点等に関し意見交換を行っている。利用者満足に関する調査は行っていないが、保護者との面談を3ヵ月毎に実施しており、保育内容等について保護者からの意見を聞いて、分析、改善へ繋げている。今後、利用者満足に関するアンケート調査の実施とホームページへの結果公表、保護者会の設置を期待したい。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b
<p>&lt;コメント&gt;            苦情解決実施要項を整備し、苦情解決の仕組み、解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員の設置等明記して職員に周知している。保護者へは重要事項説明書に明記し説明している。玄関に意見箱を設置している。3ヵ月毎の保護者面談時に苦情に関する情報も得ている。苦情内容と経過、解決結果を記録・保管し、保護者には掲示で知らせている。3ヵ月毎に便りやホームページに苦情件数を公表している。今後、苦情解決実施要項に則り苦情内容や解決策等の公表を期待したい。</p>		

		第三者評価結果
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b
<p>&lt;コメント&gt;            玄関に相談窓口に関する掲示と意見箱と用紙を設置している。保護者と園長との面談の中で、相談相手を自由に選べることを説明している。相談や面談はプライバシーに配慮して個室で行い、周囲に声が漏れないようにしている。園長や職員は、積極的に保護者へ声掛けし、話しやすい雰囲気づくりに努めており、相談内容は、その場で迅速に解決できるよう努めている。解決までに時間を要する内容については、保護者へ状況を説明し、経過報告を行っている。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
<p>&lt;コメント&gt;            保護者からの意見や相談があった場合は、保育士が話を傾聴し、速やかに主任保育士や園長へ報告し対応している。対応に一定期間を要する場合はその旨説明し、経過や進捗状況等説明して理解と協力を得るよう努めている。相談対応マニュアルは作成していないが、苦情対応マニュアルに準じて対応しており記録に残している。今後、相談・意見対応マニュアルの整備と保護者へのアンケート調査の実施を期待したい。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b
<p>&lt;コメント&gt;            危機管理マニュアルを整備している。園での指揮権は①園長、②主任保育士の順にある。リスクマネージャーの選任や配置、リスクマネジメント委員会の設置はしていないが、リスクマネジメントは主任保育士が担当している。職員会議の中で、発生事例の要因分析や改善策等の検討を行い、事故防止に努めている。安全確保や事故防止に関する研修も実施しており、園長は安全に関するマニュアルの更なる充実を図るべく園全体で作成中である。他施設で発生した事例等はボードに記載し、職員へ注意喚起している。今後、事故報告書とは別にヒヤリハット報告書を作成し、事例の蓄積と活用を期待したい。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;            保健衛生マニュアルを作成し職員に周知している。国が定める感染対策ガイドラインに掲載されていないヒトメタニューモウイルス感染が園で発生し、他の保護者へ文書により症状及び対応病院を紹介する等周知を図った。感染症が発症した際は、保護者へ予防のための情報提供と園内発症件数を知らせている。また、今流行している感染症を掲示し、保護者へ注意喚起している。職員へ感染症に関する研修も実施しており、感染予防対策に活用している。今後、新型コロナウイルスとヒトメタニューモウイルス感染について、マニュアル追記し作成することを期待したい。</p>		

		第三者評価結果
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	C
<p>&lt;コメント&gt;            危機管理マニュアルの中に地震、火災、自然災害が含まれている。園は市のハザードマップの地滑り危険区域には少し外れており、指定されていない。避難訓練を実施し、非常持ち出しの確認も行っている。            (園児名簿、危機管理マニュアル、携帯電話)食料の備蓄は水と菓子、乾パンのみであり、更に充実を図ることが望ましい。AEDを設置予定であり、設置後は地域にも知らせるようにしている。今後、地域と連携した防災対策・訓練に取り組むことを期待したい。</p>		
40	Ⅲ-1-(5)-④ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルが整備されており、その対応方法について、全職員に周知されている。	b
<p>&lt;コメント&gt;            過去1年間で不審者案件は発生していない。危機管理マニュアルを整備し、その中に不審者対応マニュアルも含まれている。子ども達と一緒に訓練を実施し、合言葉により子ども達が園内に避難し施錠している。現在一部マニュアルの見直しを実施しており、職員への周知は園内研修の中で行う予定である。</p>		

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
41	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	b
<p>&lt;コメント&gt;            年間保育計画、月間指導計画、週案を作成し保育を行っている。毎月の職員会議を通じて保育計画の検討と前月の保育の評価を行っている。画一的に実施するのではなく、子どもの発達や状況に応じて柔軟に対応している。子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に配慮し、何をして遊ぶかを子どもが決め、トイレは一同で行かないように、子どもが行きたいと言った時に行くようにしている。今後、死角になる場所に配慮しつつ、トイレが外から見えないような工夫を期待したい。</p>		
42	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
<p>&lt;コメント&gt;            保護者からの意見や提案を取り入れるしくみになっていないため、今後、アンケート等を実施し意見や提案を汲み取ることが望ましい。園長は採用した職員の意見・情報を収集して検討し、得意分野を保育に活用できるよう努めている。標準的な実施方法の見直しは定期的ではなく、必要に応じて業務上提案があったらすぐに対応する、定期的に会議の議題にする、散歩回数を増やす等、標準的な実施方法の見直しを検討している。</p>		

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
43	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	b
<p>&lt;コメント&gt;  指導計画作成の責任者は園長である。入園児の保護者面談は担当保育士が同席し、アレルギーや生育状況等細かく聞き取りを行っている。食物アレルギーを持つ子どもの場合は、管理栄養士からの聞き取りとかかりつけ医の指導票を提出してもらい、全職員で事故が無いよう把握している。発達障がい児については、保護者、支援事業所、担当相談員、担当保育士と担当者会議を行い、児童のサービス利用計画書を基に情報を確認・共有して保育を進めるよう努めている。必要な場合は保護者の同意のもと事業者や病院に相談し評価等の情報を入手することもある。</p>		
44	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;  全体的な計画、年間指導計画、月間指導計画、週指導計画、個別指導計画を作成している。毎月職員会議の中で、前月の指導計画を分析・評価し、課題を明確にして次月に繋げるようにしている。指導計画の変更時は、内容を職員に周知している。緊急に指導計画の見直しが必要な場合は、園長や主任保育士へ報告し、ミーティング等で検討している。園は保護者からの意見を指導計画に反映させることを考えており、今後の取り組みに期待したい。また、保護者会の設置とPDCAサイクルがより機能するよう取り組むことを期待したい。</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
45	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b
<p>&lt;コメント&gt;  個別指導計画を立案しており、職員間で情報共有が必要な場合は、朝の会で共有を図っている。入園児からの記録や個別指導計画、書類等が個人別にファイリングされ、事務所で保管・管理しており、全職員が共有できるようになっている。児童要録の書き方は主任保育士が個別に指導している。新人保育士に対し記録の書き方は、厚労省が示している記録の書き方に準じて記録に残している。職員間の情報共有は基本的に職員会議で行っているが、朝の会やミーティングでも情報共有を図っている。</p>		
46	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b
<p>&lt;コメント&gt;  記録管理の責任者は園長である。個人情報保護規定は法人に保管し、園には運営規定や、就業規則に個人情報保護に関する事項を示している。運営規定に文書の保存期間を明示しており、罰則規定は就業規則に記載している。また、新入園児説明書一覧の中に個人情報使用同意書があり、保護者と個人情報使用同意書を交わしている。ホームページに写真を掲載する場合は、その都度保護者の承諾を得ている。個人情報の園外持ち出しは禁止しているが、やむおえず持ち出す場合は園長の許可を得ている。今後、個人情報保護規定を作成し、重要事項説明書に個人情報保護に関する記載と研修会の実施を期待したい。</p>		

# 評価細目の第三者評価結果（保育所）

## A-1 保育内容

		第三者評価結果
A-1-(1) 全体的な計画の作成		
1	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	C
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育の理念や保育の方針や目標について、パンフレットやしおりに掲載しているが、全体的な計画が様式として確認できなかった。児童の権利に関する趣旨をしっかりと捉え、理念や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じ、職員が参画して作成することが望まれる。</p>		
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
2	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育室には奇抜な装飾を取り除き、子どもが集中しやすい生活環境を整備している。保育室の窓は大きく自然の光が保育室の中に取り込まれている。一人ひとりの子どもがいつでもくつろげる心地良い空間が常時整備され、生活面でも子どもが自ら利用しやすい設備への工夫が望まれる。</p>		
3	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育士は子どもへ危険が及ぶ場合には指導をするが、注意することをなるべく少なく、禁止用語を使わないように努めている。注意は静かに優しく、指示も丁寧な言葉でするようにしている。子どもへの対応に保育士によって対応の差が窺えるため、今後、子どもの変化や状況に合わせて記録を残し、職員間で共有を図るための体制作りが望まれる。</p>		
4	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>生活の中で、子どもの自立に向けて自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。基本的な生活習慣を子ども自ら集中して自分でやろうという気持ちを大切にしながら、個別のロッカーを分かりやすく設置している。今後、子ども自身が健康や安全に関心を持ち、病気の予防や健康増進の為の習慣や態度が身に付くような取り組みや生活の中での工夫が望まれる。</p>		

		第三者評価結果
5	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a
<p>&lt;コメント&gt;            保育室は整理整頓され、子どもが遊びに使う遊具等がすぐに取り出せるよう場所を設定している。子ども自らが身体を使って遊びたくなるような園庭の遊具の配置や、ヤギの飼育を行うなど、子どもが環境を通して育つような工夫が窺える。子どもの発達を促す環境設定は高く評価できる。</p>		
6	A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
<p>&lt;コメント&gt;            子どもの個の発達に合わせて保育を行っている。乳児の手作りおもちゃも発達に合わせて、考慮しながら提供するなど成長に合わせて保育をおこなっている。園庭では安心して遊ぶことのできる環境が整備され、自然や四季の変化を身体で感じることができる。受入れしている乳児が少なくはあるが、今後も乳児が十分環境に関わり、心身の発達がより促される保育を行われることに期待したい。</p>		
7	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
<p>&lt;コメント&gt;            0歳児と1歳児が一緒に生活し、2歳児と分かれてクラス編成し保育を行っている。保育士に対し子どもが自らしようとする気持ちを尊重した声かけや対応をするよう会議や研修等を通じて徹底している。年齢に合わせた保育を行っており、1歳児においては探索活動が十分できる環境を整えるなど、大人の見守り体制のもとで保育を行っている。子ども同士のやり取りやケンカは保育士が仲立ちとなり、丁寧な関わりを持ち対応するよう努めている。</p>		
8	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
<p>&lt;コメント&gt;            保育士は各年齢の発達状況を踏まえ、発達の特徴を理解して保育計画や活動中の配慮を行っている。3歳から5歳までの子どもは一緒に生活している。今後、地域にある社会資源をうまく活用し、子どもの保育活動が豊かに提供される取り組みが数多く行われることを期待したい。</p>		
9	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
<p>&lt;コメント&gt;            訪問調査時、障がいを持つ子どもはいなかった為確認はできなかったが、発達障がい等の知識や技術を保育士が学べるよう外部講師を招き研修を行っている。今後、望まれるのは保育園を利用している保護者に対しても障がいを持つ子どもの保育について情報を伝える為の取り組みが必要と思われる。</p>		



		第三者評価結果
10	A-1-(2)-⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
<p>&lt;コメント&gt;            訪問調査日現在は長時間保育を利用する子どもはいない。16時30分からのお迎えに対応した合同保育を行っている。子どもの情緒の安定に配慮した対応を行っている。未満児に以上児がぶつかったりしないよう環境への配慮も行っている。子どもの健康に関することであったり、保育の様子を保護者に伝えることは連絡事項として色分けした文書で引継ぎを行っている。伝え忘れは翌朝に必ず確認を行っている。今後、長時間保育の家庭の受入れがあることを仮定し、保育計画にも生活リズムや在園時間から子どもの心身の状態への配慮が盛り込まれることに期待したい。</p>		
11	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	C
<p>&lt;コメント&gt;            小学校との連携に関して、校長先生の意向で小学校の担任との連携が取りにくい現状が窺える。設立時は小学校校長と担当教諭3名が来園し情報交換を行った。小学校との連携は就学までの見通しを持った計画立案にとって必要不可欠と思われる。今後、小学校との連携がスムーズに行える体制作りが望まれる。</p>		
A-1-(3) 健康管理		
12	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;            保健健康マニュアルに沿って子どもの健康管理に対する取り組みを行っている。母子手帳の写しを保護者から入手し、予防接種の確認と接種を受けていない若しくは接種の回数が足りない家庭には、園から保護者へ伝えるようにしている。就学前に接種していない状況があれば告知や周知を行うなど、園から働きかけを行う取り組みが望まれる。</p>		
13	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	b
<p>&lt;コメント&gt;            検診結果や内容は便りや送迎時に直接保護者へ伝えている。今後、検診結果から保護者と連携し、子どもの健康増進、受診、治療に繋げて進めていくような取り組みに期待したい。また、嘱託医などと日頃から連携を図り、健康教育を行う上で意見や助言を伺ったり、子どもの健康に対する関心が持てるよう援助するなど今後の取り組みに期待したい。</p>		
14	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;            アレルギー疾患を持つ子どもには医師の指示書に基づき、アレルギー除去食を提供している。食器はメラニン素材を使用し一部陶器を使用している。医師による判断のもと食物アレルギーの食物除去を解除した場合は、職員と情報を共有している。今後は誰が見ても分かるようアレルギー対象児の情報が示されたしくみの構築に期待したい。</p>		

		第三者評価結果
A-1-(4) 食事		
15	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	b
<p>&lt;コメント&gt;  給食及びおやつは保育室で机を並べて囲むように子どもの座る位置で設定されていた。食材や野菜の切った断面を見せるなど、子どもにとって食に関する豊かな経験になるよう工夫している。保育士は食べれるものが少しずつ増えるように「一口だけががんばってみようか？」などと促す声かけを行っている。今後は子どもの個人差や食欲に応じて、食べる量を自ら加減できるような環境づくりを工夫することに期待したい。</p>		
16	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	b
<p>&lt;コメント&gt;  食材は旬のものを使用して調理し提供している。月1回の食育会議では調理担当と担任が話し合い、担任からの要望や意見を汲み取って献立を作成している。離乳食についても家庭と連携を取りながら調理を行っている。衛生管理は主の調理担当者を中心に適切に行っている。今後は残食量の調査及び記録をとり子どもの嗜好や喫食状況等の把握に努めることを期待したい。</p>		

## A-2 子育て支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
17	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;  保護者とは連絡帳や朝夕の送迎時の会話などで連携を図っている。園行事はコロナ禍で開催できなかったことも多数あったことから、コロナ禍収束後には各種行事や保育参観などを開催していく方針である。保護者とのやり取りや内容は記録を残している。尚、園と保護者の情報交換の内容には、職員全員が共通認識のもと周知を図ることが望ましい。また、必要に応じて保育計画にも反映できるような様式の標準化や、子どもの発達や育児を共に考える良い機会とするためにも体制を整備することが望まれる。</p>		
A-2-(2) 保護者等の支援		
18	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;  保護者がいつでも相談できるような相談室の設置や、相談しやすい雰囲気づくりを心がけている。特に朝夕の送迎時の直接話ができる時は、保育士が積極的に保護者に声かけを行っている。今後は相談内容を記録し、園内で共有し園生活で適切に子どもや家庭への支援につなげることに期待したい。</p>		

		第三者評価結果
19	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	b
<p>&lt;コメント&gt;            虐待が疑われる場合は、園長や主任保育士に相談し、速やかに園内で情報を共有し対応を協議する体制を整えている。また、児童相談所や警察とも連携し通報できる体制を整えている。今後の子育て支援の為に、父親の面談も行っていくとの園長の強い想いが窺える。今後、保護者が何らかの困難を抱え、そのために養育が不適切になる恐れがあると思われる場合には、予防的に精神面、生活面を援助していく必要があることを踏まえた職員体制の整備に期待したい。</p>		

### A-3 保育の質の向上

		第三者評価結果
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		
20	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b
<p>&lt;コメント&gt;            3カ月に1回コンサルタントを交えた人事評価、年に2回の内部評価を行っている。保育士は週案の反省を行い、保育の改善や専門性の向上に努めている。今後は職員相互の学び合いの場となるよう自己評価の体制づくりや職員会議等の活用し、保育実践の振り返りに活かすことに期待したい。</p>		

## 事業所プロフィール（保育所）

1. 事業所名称：はぐれり恵光保育園
2. 運営主体（法人名等）：社会福祉法人 恵光会
3. 事業所所在地：大村市東大村2丁目1614-42
4. 事業所の長の氏名（園長等）：三根 雅之
5. 連絡先  
電 話 : 0957-20-7100  
F a x : 0957-20-7110  
E メ ール : pkh@sage.ocn.ne.jp  
ホームページ : //www.keikokai.jp
6. 当該事業の開始年月日：平成28年4月1日
7. 同一事業所（同一敷地内または同一建物内で行われる事業を指す）で実施している  
同一運営主体の主な福祉サービス事業

延長保育

8. 事業所が大切にしている考え方(事業所の理念や基本方針等を簡潔にお書きください。  
リーフレット等の資料を添付していただいても結構です。)

大切にしている5つのこと

1. 人間関係をつくる基本となる「あいさつ」
2. 社会的習慣を身につける「しつけ」
3. 掛ける言葉によって人格が形成される「ことば」
4. 五感を刺激し、感性を豊かにする「外遊び」
5. 質の高い教育「集中力・記憶力を高めるCAT 教室」

9. 現在の職員数（令和4年11月1日現在）：

常勤職員数 7 人、非常勤職員数 4 人（常勤換算 3 人）

10. 定員及び現在の利用者：

(1) 一般保育

	定員（人）	利用者数（人）
0歳児	4	1
1歳児	8	7
2歳児	10	9
3歳児	9	5
4歳児	5	3
5歳児	4	1
計	40	26

(2) 特別保育

	定員（人）	利用者数（人）
延長保育		
障害児保育		1
病後児保育		
一時保育		
その他 ( )		

11. 現在のサービス提供能力（利用状況）と利用者数

（以下のいずれかに○印をおつけください）

- ① サービスを希望しながら待っている人がかなりいる。
- ② ほぼサービス提供能力に見合った利用者数で、待っている人はほとんどいない。
- ③ サービス提供能力に余力があり、希望者があれば受け入れたい。

12. 施設の状況

(1) 建物面積（保育園分）：

425.01 m<sup>2</sup>    利用者1人あたり 16.3 m<sup>2</sup>

(2) 園庭面積：

524.15 m<sup>2</sup>    利用者1人あたり 20.15 m<sup>2</sup>

(3) 建築（含大改築）後の経過年数：

6 年

(4) 保育所の設置形態

- 単独設置の場合：( 1 階建)
- 他施設と併設の場合：  
併設施設種別：  
保育所の使用階数： \_\_\_\_\_ 階部分
- 建築（含大改築）後の経過年数：( 6 年)
- 3年以内の大改築計画の有無：( 有 ・ 無 )

(5) 立地条件など

- ① 交通の便： JR大村 駅から 徒歩 バス、その他（ 車 ）で 15 分  
バス停 \_\_\_\_\_ から 徒歩 \_\_\_\_\_ 分
- ② 近隣の環境（周辺道路の状況、近隣の施設や建物、公園までの距離など）

13. 苦情解決の体制について

(1) 第三者委員設置の有無

- 設置している（委員数 3 人）
- 設置していない

(2) 第三者委員の活動状況（定期的な訪問を依頼しているような場合その訪問頻度等）：

苦情申出人が第三者委員の助言や立ち合いを求める場合、第三者委員は苦情内容の確認、解決案の調整・助言、話し合いの結果や改善事項等の確認を行っている。

(3) その他苦情解決に向けての取組み（意見箱の設置、オンブズマンの導入等）についてご記入ください

苦情申し出窓口を設置し、苦情解決責任者を園長、受付担当者を主任保育士とそれぞれ責任者を決め、意見箱を設置し苦情の受付を行い、苦情申出人と誠意をもって話し合い、解決に努めている。

#### 14. 各種マニュアルの整備

- (1) 基本業務実施マニュアル ( 整備している    整備していない )
- (2) 感染症対応マニュアル ( 整備している    整備していない )
- (3) 事故発生対応マニュアル ( 整備している    整備していない )
- (4) その他のマニュアル類がありましたらご記入ください

給食衛生管理マニュアル、アレルギー給食対応マニュアル

#### 15. 事業所の特徴

サービス面で、他の事業所と比較をして優れていると思われる点、特徴があると思われる内容を3つ以内でお書きください。

- ① 約30名と少人数の園児であり、きめ細やかな質の高い保育サービスが出来ていること。

- ② 周りが自然に囲まれて園庭も広く、遊具も園児が好きな大きな海賊船を設置しており、のびのび遊べる環境が整っている。

- ③ 園庭内にヤギを3匹飼っており、園児がヤギと触れ合う中で、命の大切さを学んでいる。

評価機関名 特定非営利活動法人  
ローカルネット日本評価支援機構

事業所名称	ぷれり恵光保育園
-------	----------

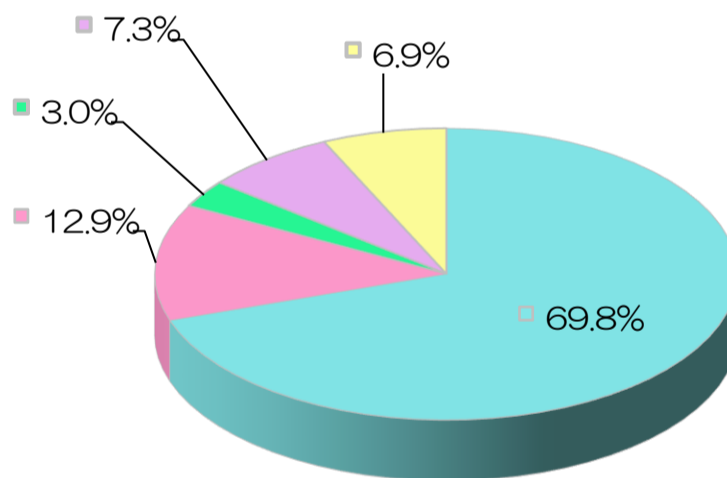
調査の対象・方法	対象：ぷれり恵光保育園 利用者保護者 方法：事業所より保護者へ調査表を配布していただき、返信用封筒にて、直接当機関へ返送する方法により実施した。
----------	---

調査実施期間	2022年7月1日～2022年8月31日
--------	----------------------

利用者総数（人）	24
調査対象者数（人）	16
有効回答数（人）	8
回収率（%）	50.0%

アンケート結果平均

はい	162 件	69.8%
どちらともいえない	30 件	12.9%
いいえ	7 件	3.0%
わからない	17 件	7.3%
無回答	16 件	6.9%



総 評	<p>今回の保護者向けアンケートでは回収率50%であった。アンケート中、「保育士や他の職員は親切、丁寧に対応してくれますか。」、「この保育園を利用する前に、保育園での生活や保育の内容についてわかりやすい説明がありましたか。」、「献立や栄養・食べ方などが工夫されていますか。」との問いに対し、8割の保護者が「はい」と回答が挙げた点は評価できる。</p> <p>一方、「保育について保護者の意向に関する調査が定期的に行われていますか。」、「お子さんや保護者の要望・意見をもとに、改善が行われていますか。」、「地域や家庭（保育園を利用していない家庭も含めた）の子育て相談や交流会など、積極的に保育園の開放をしていると思いますか。」、「異年齢の子ども同士との交流が活発に行われていますか。」との問いに対し、肯定的な回答が少ない傾向が窺える。特に、保護者への定期的な意向調査、地域や家庭（保育園を利用していない家庭も含めた）の子育て相談や交流会の実施、異年齢の子ども同士との交流は、現状を見直し具体的に取り組むことを期待したい。</p>
-----	---



長崎県福祉サービス第三者評価 利用者調査結果（保育所用）




















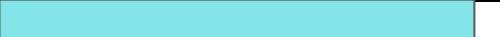























事業所名称	ぷれり恵光保育園	有効回答数	8 人
-------	----------	-------	-----

評価対象	No	質問項目	回 答	回答数	(%)
全サービス共通項目					
施設の理念・基本方針	1	保育所が保育を実施する上での基本的な考え方や方針を知っていますか。	はい	5 件	62.5%
			どちらともいえない	2 件	25.0%
			いいえ	0 件	0.0%
			わからない	1 件	12.5%
			無回答	0 件	0.0%
	2	【はいの場合】保育を実施する上での基本的な考え方や方針には納得していますか。	はい	5 件	62.5%
			どちらともいえない	2 件	25.0%
			いいえ	0 件	0.0%
			わからない	0 件	0.0%
			無回答	1 件	12.5%
	3	【はいの場合】実際に利用してみて、日頃の保育サービスは基本的な考え方や方針と一致していますか。	はい	5 件	62.5%
			どちらともいえない	1 件	12.5%
いいえ			0 件	0.0%	
わからない			0 件	0.0%	
無回答			2 件	25.0%	
職員の対応	4	保育士や他の職員は親切、丁寧に対応してくれますか。	はい	7 件	87.5%
			どちらともいえない	1 件	12.5%
			いいえ	0 件	0.0%
			わからない	0 件	0.0%
			無回答	0 件	0.0%
プ ヘ ラ の イ 配 バ 慮 シ ー	5	「お子さんや自分が秘密にしたいこと」を他人に知られないように配慮してくれますか。	はい	6 件	75.0%
			どちらともいえない	1 件	12.5%
			いいえ	0 件	0.0%
			わからない	1 件	12.5%
			無回答	0 件	0.0%
利用者の意向の尊重	6	保育について保護者の意向に関する調査が定期的に行われていますか。	はい	1 件	12.5%
			どちらともいえない	4 件	50.0%
			いいえ	0 件	0.0%
			わからない	3 件	37.5%
			無回答	0 件	0.0%
	7	困ったことを相談できる職員がいますか。	はい	5 件	62.5%
			どちらともいえない	0 件	0.0%
			いいえ	1 件	12.5%
			わからない	2 件	25.0%
			無回答	0 件	0.0%
苦 情 方 受 け 等 付 け	8	苦情がある場合の受付や解決の仕組みについて、説明がありましたか。	はい	5 件	62.5%
			どちらともいえない	0 件	0.0%
			いいえ	1 件	12.5%
			わからない	2 件	25.0%
			無回答	0 件	0.0%
不 満 や 要 望 へ の 対 応	9	不満や要望を気軽に話したり伝えたりすることができますか。	はい	5 件	62.5%
			どちらともいえない	2 件	25.0%
			いいえ	1 件	12.5%
			わからない	0 件	0.0%
			無回答	0 件	0.0%
	10	お子さんや保護者の要望・意見をもとに、改善が行われていますか。	はい	4 件	50.0%
			どちらともいえない	3 件	37.5%
			いいえ	0 件	0.0%
			わからない	1 件	12.5%
			無回答	0 件	0.0%

職員間の連携・サービスの標準化	11	あなたが要望したことが他の職員にも伝わり、理解されていますか。	はい		5件	62.5%
			どちらともいえない		2件	25.0%
			いいえ		1件	12.5%
			わからない		0件	0.0%
			無回答		0件	0.0%
	12	保育士や他の職員の保育姿勢はだいたい同じですか（職員によって言うことやすることに違いがありませんか）。	はい		6件	75.0%
			どちらともいえない		1件	12.5%
			いいえ		1件	12.5%
			わからない		0件	0.0%
			無回答		0件	0.0%
地域における子育て支援	13	地域や家庭（保育所を利用していない家庭も含めた）の子育て相談や交流会など、積極的に保育所の開放をしていると思いますか。	はい		3件	37.5%
			どちらともいえない		2件	25.0%
			いいえ		1件	12.5%
			わからない		2件	25.0%
			無回答		0件	0.0%
事故の発生	14	お子さんが保育所の中で怪我をしたことがありますか。	はい		7件	87.5%
			どちらともいえない		0件	0.0%
			いいえ		1件	12.5%
			わからない		0件	0.0%
			無回答		0件	0.0%
	15	【はいの場合】怪我をした後の対応は適切でしたか。	はい		5件	62.5%
			どちらともいえない		0件	0.0%
			いいえ		0件	0.0%
			わからない		2件	25.0%
			無回答		1件	12.5%
【過去1年以内にご利用開始】	16	この保育所を利用する前に、保育所での生活や保育の内容についてわかりやすい説明がありましたか。	はい		7件	87.5%
			どちらともいえない		1件	12.5%
			いいえ		0件	0.0%
			わからない		0件	0.0%
			無回答		0件	0.0%
	17	実際に利用してみて、説明どおりでしたか。	はい		6件	75.0%
			どちらともいえない		2件	25.0%
			いいえ		0件	0.0%
			わからない		0件	0.0%
			無回答		0件	0.0%

個別サービス項目

食事	18	献立や栄養・食べ方などが工夫されていますか。	はい		7件	87.5%
			どちらともいえない		0件	0.0%
			いいえ		0件	0.0%
			わからない		0件	0.0%
			無回答		1件	12.5%
施設的环境	19	お子さんが生活するところは心地よく過ごせる雰囲気ですか。	はい		6件	75.0%
			どちらともいえない		1件	12.5%
			いいえ		0件	0.0%
			わからない		0件	0.0%
			無回答		1件	12.5%
	20	お子さんの発育や意欲を促すような遊具・玩具などが十分に用意されていますか。	はい		5件	62.5%
			どちらともいえない		1件	12.5%
			いいえ		0件	0.0%
			わからない		1件	12.5%
			無回答		1件	12.5%

保育内容	21	園外で身近な自然や社会に接する機会が多いですか。	はい		7件	87.5%		
			どちらともいえない		0件	0.0%		
			いいえ		0件	0.0%		
			わからない		0件	0.0%		
			無回答		1件	12.5%		
	22	お子さん一人ひとりに合わせた豊かな感性を育む活動・遊びが行われていますか。	はい		6件	75.0%		
			どちらともいえない		0件	0.0%		
			いいえ		0件	0.0%		
			わからない		1件	12.5%		
			無回答		1件	12.5%		
	23	異年齢の子ども同士の交流が活発に行われていますか。	はい		3件	37.5%		
			どちらともいえない		2件	25.0%		
			いいえ		1件	12.5%		
			わからない		2件	25.0%		
			無回答		0件	0.0%		
	24	お子さん一人ひとりの個性や生活習慣などの違いが尊重されていますか。	はい		7件	87.5%		
どちらともいえない				0件	0.0%			
いいえ				0件	0.0%			
わからない				0件	0.0%			
無回答				1件	12.5%			
保護者への育児支援	25	送迎時の対話や連絡帳などで、日々のお子さんの様子を知ることができますか。	はい		6件	75.0%		
			どちらともいえない		1件	12.5%		
			いいえ		0件	0.0%		
			わからない		0件	0.0%		
			無回答		1件	12.5%		
	26	子育てに関する気がかりな点や悩みについて、相談しやすいですか。	はい		6件	75.0%		
			どちらともいえない		1件	12.5%		
			いいえ		0件	0.0%		
			わからない		0件	0.0%		
27	保護者が参加しやすいように行事日程が組まれていますか。	はい		6件	75.0%			
		どちらともいえない		1件	12.5%			
		いいえ		0件	0.0%			
		わからない		0件	0.0%			
健康管理	28	登園時に、お子さんの様子についての把握・確認がありますか。	はい		7件	87.5%		
			どちらともいえない		0件	0.0%		
			いいえ		0件	0.0%		
			わからない		0件	0.0%		
			無回答		1件	12.5%		
	29	インフルエンザなどの感染症が発生したときには、発生について説明がありますか。	はい		5件	62.5%		
			どちらともいえない		1件	12.5%		
			いいえ		0件	0.0%		
			わからない		1件	12.5%		
			無回答		1件	12.5%		
			その他自由意見					